

2022年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 クックパッド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2193 URL <https://info.cookpad.com/>  
 代表者 (役職名) 代表執行役 (氏名) 岩田 林平  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 犬飼 茂利男 (TEL) 050-3142-1532  
 定時株主総会開催予定日 2023年3月29日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年3月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期の連結業績 (2022年1月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	9,086	△9.2	△3,520	—	△3,529	—	△3,592	—	△3,488	—	△3,360	—
2021年12月期	10,004	△9.8	△2,632	—	△2,595	—	△2,968	—	△2,380	—	△2,169	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後1株当たり 当期利益	親会社所有者帰属 持分当期利益率	資産合計税引前利 益率	売上収益営業利益 率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年12月期	△33.47	—	△18.0	△16.0	△38.7
2021年12月期	△22.41	△22.41	—	△10.3	△26.3

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期	20,154	17,752	17,752	88.1	169.52
2021年12月期	23,863	21,631	21,029	88.1	201.22

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年12月期	△2,701	△261	△976	16,824
2021年12月期	△1,772	△336	△1,094	20,410

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日~2023年12月31日)

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しみにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、2023年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期	107,429,400株	2021年12月期	107,429,400株
② 期末自己株式数	2022年12月期	3,219,061株	2021年12月期	3,219,061株
③ 期中平均株式数	2022年12月期	104,210,339株	2021年12月期	106,165,802株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年12月期の個別業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	8,652	△9.2	△3,223	—	△2,924	—	△3,032	—
2021年12月期	9,534	△10.5	△1,709	—	△1,242	—	△1,427	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年12月期	△29.10		—					
2021年12月期	△13.45		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期	22,155	20,754	93.3	198.33
2021年12月期	24,924	23,761	95.1	227.43

(参考) 自己資本 2022年12月期 20,668百万円 2021年12月期 23,701百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(連結業績予想について)

サマリー情報「3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）」に掲げた理由から、業績予想については記載していません。

(決算説明会資料について)

決算短信に加えて、「2022年12月期決算説明会」のプレゼンテーション動画や説明会の資料は、当期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結財政状態計算書 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結持分変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(6) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

2022年12月期連結会計年度（2022年1月1日～2022年12月31日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	前期比
売上収益	10,004	9,086	△9.2%
営業損失	△2,632	△3,520	－%
税引前当期損失	△2,595	△3,529	－%
親会社の所有者に帰属する 当期損失	△2,380	△3,488	－%

当社グループは「毎日の料理を楽しむにする」というミッションの下、日本のみならず世界中の料理のつくり手を増やすべく、料理に関する様々な課題解決に向けた積極的な投資を行っています。このミッションについて、当社グループの事業活動の目的・存在意義を明確にするため、定款に「当社は、『毎日の料理を楽しむにする』ために存在し、これをミッションとする。」、「世界中のすべての家庭において、毎日の料理が楽しみになった時、当社は解散する。」という記載をしています。

世界中の人々の生活は資本主義体制の中で非常に豊かになり、貧困に悩む人は減り、医療技術の革新により人類の寿命は長くなりました。しかしながら、生活は豊かになりましたが、肥満や生活習慣病、バーチャルな人間関係の偏重がもたらす心の病は増加しました。また、「地球」の健康という意味でも、CO2の排出量増加、オゾン層の破壊、土壌や海洋の自浄作用を超えた汚染など、大きな犠牲を払ってきました。

外食やデリバリーの普及によって、安くて美味しいものが手軽に食べられるようになりましたが、それらの食品を流通させるために、多くの森林が伐採され、ゴミも増え続けています。結局、今まであった問題を解決する中で、また新たな問題を作っているに過ぎないのではないかと当社グループは考えています。

ヒトの健康に必要なものは、食事、運動、睡眠といわれ、世界でもっとも頻度高く行われている社会活動は、家族での食事です。つまり食は、ヒトにも社会にも、地球にも大きな影響を与えているといえます。この食の良し悪しがヒトと、社会と、地球のこれからの分岐点になると思っています。

当社グループは、食の世界を良くするには、料理をするひとはもちろん、農家など食に関わるものをうみだす「つくり手を増やすこと」が重要だと考えています。これまでの歴史において、効率や利益の追求が優先され、結果、地球が健康を損なうシーンに遭遇することが多くなりましたが、つくり手になると様々な「気づき」が増え、自ら考え判断するようになるので、「つくり手」となったひと自ら地球の健康について判断したほうが正しい意思決定ができると思っています。

「つくり手」で居続けてもらうためには、料理が楽しみに、それも、毎日楽しみになる仕組みづくりが必要だと思うのです。料理をもっとクリエイティブで楽しいものにしたい。「つくること」をわくわく楽しいことにしたい。「作業」ではなくどんだんうまくなるものにしたい。料理をとおして、他の人とのつながりが楽しみとなり増えていくようにしたい。料理を、ヒト、社会、地球の健康に貢献していると自信をもって続けていけるものにしたい。そんな風に考えています。

世界中の80億人の中には、すでに料理を楽しんでいる「つくり手」がたくさんいます。そのひとたちのエネルギーや、知恵や、思いや、気持ち人が人を励まし助けになるようなコミュニティをつくりたいと思っています。

今後とも当社グループはヒト、社会、地球の健康を「毎日の料理を楽しむにする」ことによって実現し、企業価値の向上と株主価値の最大化に向けて邁進していきます。

当連結会計年度における売上収益は9,086百万円（前期比9.2%減）となりました。これは国内レシピサービス会員売上及び国内レシピサービス広告売上において、売上収益が減少したことによります。販売費及び一般管理費は12,232百万円（前期比0.1%減）となりました。これは主に、国内の新規事業に積極的な投資を行っていること及び、為替の変動により海外の費用が増加したことの一方で、昨年度にCookpadTV株式会社において計上した減損損失が当連結会計年度には発生しなかったこと等によります。この結果、営業損失は3,520百万円（前期は2,632百万円の損失）、税引前当期損失は3,529百万円（前期は2,595百万円の損失）となりました。親会社の所有者に帰属する当期損失は、法人税等の計上及び繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額の計上があった一方で、CookpadTV株式会社において非支配持分に帰属する当期損失が発生したことにより、3,488百万円（前期は2,380百万円の損失）となりました。

なお、当社グループは、意思決定の迅速化及び経営資源の集中を図るため、2022年7月1日付で、連結子会社であるCookpadTV株式会社の株式を同社のストア事業を対価として追加取得し、完全子会社化しました。また、同日付で同社名をクックパッドライブ株式会社に変更しています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにすること」の単一セグメントであります。売上収益の内訳は、以下の通りです。

(単位：百万円)			
	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	前期比
毎日の料理を楽しむにすること	10,004	9,086	△9.2%
国内レシピサービス会員売上	6,943	6,408	△7.7%
国内レシピサービス広告売上	2,080	1,542	△25.9%
その他売上	980	1,136	15.9%

当連結会計年度における国内レシピサービス会員売上は6,408百万円（前期比7.7%減）となりました。これは主に、前期末と比較しプレミアムサービス会員が約15万人減少したことによります。

当連結会計年度における国内レシピサービス広告売上は1,542百万円（前期比25.9%減）となりました。これは主に、原材料価格の高騰等が小売価格にも反映され、食品飲料メーカーの広告出稿意欲の低下につながったことや、広告媒体の多様化等により「クックパッド」に掲載するディスプレイ広告の売上が減少したことによります。ネットワーク広告についても、販売数、単価共に下落しました。

当連結会計年度におけるその他売上は、1,136百万円（前期比15.9%増）となりました。これは主に、クックパッドマートの売上収益が増加したこと等によります。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,709百万円減少し、20,154百万円となりました。このうち、流動資産は3,736百万円減少し、18,929百万円となり、非流動資産は27百万円増加し、1,224百万円となりました。

この主な要因は、営業活動による支出の増加等により現金及び現金同等物が3,585百万円減少したことによるものです。

### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ170百万円増加し、2,402百万円となりました。このうち、流動負債は324百万円増加し、1,544百万円となり、非流動負債は154百万円減少し、857百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動負債については、国内新規事業に関わる支出により営業債務及びその他の債務が176百万円増加したことに加え、未払法人所得税等が83百万円増加したこと等によるものです。非流動負債については、主にオフィスの賃借料支出により長期リース負債が156百万円減少したことによるものです。

### (資本)

当連結会計年度末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ3,879百万円減少し、17,752百万円となりました。この主な要因は、為替の円安影響等によりその他の資本の構成要素が253百万円増加した一方、利益剰余金が3,484百万円減少したこと及びクックパッドライブ株式会社を完全子会社化したことにより非支配持分が601百万円減少したことによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ3,585百万円減少し、16,824百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は、2,701百万円となりました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務が222百万円増加した一方で、税引前当期損失3,529百万円が生じたことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、261百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の取得による支出が159百万円生じたことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、976百万円となりました。この主な要因は、クックパッドライブ株式会社の株式を追加取得する際にストア事業を譲渡したことによる支出が592百万円生じたことによるものです。

### (4) 今後の見通し

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しむにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っています。本日発表の、「当社一部事業の廃止及び希望退職者の募集に関するお知らせ」に記載のとおり、廃止事業に係る売上収益および費用が減少、また希望退職者の募集に伴う特別退職金が発生する見込みです。今後も新規事業への投資が先行する見通しですが、その投資の時期や金額規模については、事業を取り巻く環境の変化に応じて機動的に判断していく想定であるため、2023年12月期の連結業績予想を記載しておりません。

### (5) 利益配分に関する基本方針

当社は、2017年からの10年をさらなる大きな成長のための事業基盤創りに再度注力する「投資フェーズ」として、従って、事業上獲得した資金をサービス開発、ユーザーベース獲得、ブランド構築等の事業拡大のための投資に充当することを優先するため、剰余金の配当は行わない方針です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、「毎日の料理を楽しむにする」を企業理念とし、日本だけでなく、世界中の人々に向けて世界各国の料理を楽しむにするサービスを提供するべく、世界展開に注力しています。このような状況を踏まえ、財務情報の国際的な比較可能性の向上や開示の拡充により、国内外の株主・投資家などの様々なステークホルダーの皆さまの利便性を高めるため、国際会計基準を適用しています。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	20,410,037	16,824,230
営業債権及びその他の債権	1,709,081	1,569,801
その他の金融資産	5,529	32,184
棚卸資産	44,654	63,178
その他の流動資産	497,202	440,410
流動資産合計	22,666,503	18,929,803
非流動資産		
有形固定資産	657,095	668,464
のれん	140,920	140,920
無形資産	106,707	92,012
その他の金融資産	220,966	261,157
繰延税金資産	47,257	57,004
その他の非流動資産	24,363	4,997
非流動資産合計	1,197,309	1,224,555
資産合計	23,863,812	20,154,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
リース負債	347,787	408,340
営業債務及びその他の債務	703,061	879,104
その他の金融負債	96,068	130,710
未払法人所得税等	9,347	92,588
その他の流動負債	64,290	34,052
流動負債合計	1,220,552	1,544,793
非流動負債		
リース負債	886,420	729,564
引当金	125,207	113,289
その他の非流動負債	-	14,711
非流動負債合計	1,011,627	857,563
負債合計	2,232,179	2,402,357
資本		
資本金	5,286,015	5,286,015
資本剰余金	7,194,224	7,146,652
利益剰余金	8,985,618	5,501,550
自己株式	△735,054	△735,054
その他の資本の構成要素	299,123	552,839
親会社の所有者に帰属する持分合計	21,029,926	17,752,001
非支配持分	601,707	-
資本合計	21,631,633	17,752,001
負債及び資本合計	23,863,812	20,154,358

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	10,004,258	9,086,984
売上原価	△435,169	△424,571
売上総利益	9,569,089	8,662,412
販売費及び一般管理費	△12,243,227	△12,232,347
その他の収益	48,169	50,695
その他の費用	△6,619	△1,290
営業損失	△2,632,588	△3,520,529
金融収益	43,291	166,165
金融費用	△5,800	△174,692
税引前当期損失	△2,595,097	△3,529,057
法人所得税費用	△373,427	△63,585
当期損失	△2,968,524	△3,592,642
当期損失の帰属		
親会社の所有者	△2,380,220	△3,488,088
非支配持分	△588,304	△104,554
当期損失	△2,968,524	△3,592,642
親会社の普通株主に帰属する1株当たり当期 損失		
基本的1株当たり当期損失	△22.41	△33.47
希薄化後1株当たり当期損失	△22.41	—

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
当期損失	△2,968,524	△3,592,642
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融商品の公正価値の純変動	298	△22,479
確定給付制度の再測定	-	4,020
純損益に振り替えられることのない項目合計	298	△18,459
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	798,428	250,689
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	798,428	250,689
税引後その他の包括利益	798,725	232,230
当期包括利益	△2,169,799	△3,360,412
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,581,495	△3,255,858
非支配持分	△588,304	△104,554
当期包括利益	△2,169,799	△3,360,412

## (3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2021年1月1日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,365,838	△2,022	△520,558	23,323,497	1,190,011	24,513,508
当期損失(△)	-	-	△2,380,220	-	-	△2,380,220	△588,304	△2,968,524
その他の包括利益	-	-	-	-	798,725	798,725	-	798,725
当期包括利益合計	-	-	△2,380,220	-	798,725	△1,581,495	△588,304	△2,169,799
株式報酬取引	-	-	-	-	20,956	20,956	-	20,956
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	-	-	0	0
支配継続子会社に対する持分変動	-	-	-	-	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△733,032	-	△733,032	-	△733,032
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引額等合計	-	-	-	△733,032	20,956	△712,076	0	△712,076
2021年12月31日時点の残高	5,286,015	7,194,224	8,985,618	△735,054	299,123	21,029,926	601,707	21,631,633

当連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2022年1月1日時点の残高	5,286,015	7,194,224	8,985,618	△735,054	299,123	21,029,926	601,707	21,631,633
当期損失(△)	-	-	△3,488,088	-	-	△3,488,088	△104,554	△3,592,642
その他の包括利益	-	-	-	-	232,230	232,230	-	232,230
当期包括利益合計	-	-	△3,488,088	-	232,230	△3,255,858	△104,554	△3,360,412
株式報酬取引	-	-	-	-	25,505	25,505	-	25,505
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	-	-	-	-
支配継続子会社に対する持分変動	-	△47,572	-	-	-	△47,572	△497,153	△544,725
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	4,020	-	△4,020	-	-	-
所有者との取引額等合計	-	△47,572	4,020	-	21,485	△22,067	△497,153	△519,220
2022年12月31日時点の残高	5,286,015	7,146,652	5,501,550	△735,054	552,839	17,752,001	-	17,752,001

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期損失	△2,595,097	△3,529,057
減損損失	502,115	44,209
減価償却費及び償却費	513,825	299,187
金融収益及び金融費用 (△は益)	△81,016	△58,564
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	412,346	103,572
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△91,532	222,474
未払又は未収消費税等の増減額	△236,460	111,386
その他	△71,639	8,051
小計	△1,647,457	△2,798,742
利息及び配当金の受取額	1,009	79,521
利息の支払額	△5,292	△5,003
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△120,450	22,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,772,191	△2,701,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△150,830	△50,648
無形資産の取得による支出	△29,051	△11,815
投資有価証券の取得による支出	-	△159,267
子会社の取得による支出	-	△17,729
敷金及び保証金の差入による支出	△136,769	△40,951
敷金及び保証金の回収による収入	181,794	33,910
資産除去債務の履行による支出	△201,993	△18,000
その他	456	2,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△336,393	△261,958

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△361,581	△384,379
自己株式の取得による支出	△733,032	-
非支配持分からの子会社持分取得による支出	-	△592,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,094,613	△976,489
現金及び現金同等物の減少額	△3,203,196	△3,939,929
現金及び現金同等物の期首残高	22,685,528	20,410,037
現金及び現金同等物の為替変動による影響	927,705	354,122
現金及び現金同等物の期末残高	20,410,037	16,824,230

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

1. 報告企業

クックパッド株式会社（以下、当社）は日本に所在する企業です。本連結財務諸表は2022年12月31日を期末日とし、当社及びその子会社(以下、当社グループ)により構成されています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする」を企業理念とし、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（1976年大蔵省令第28号。以下、連結財務諸表規則）第1条の2に定める要件を満たしており、「指定国際会計基準特定会社」に該当しますので、同第93条の規定により、IFRSに準拠して連結財務諸表を作成しています。

(2) 測定の基礎

当社グループの連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を四捨五入して表示しています。

3. 重要な会計方針

本連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、他の記載がない限り、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

## 4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直します。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識します。

経営者が行った連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

## 5. セグメント情報

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする事業」の単一セグメントとなるため、事業分野ごとの収益、損益及びその他項目の記載を省略しています。

## 6. 一株当たり利益

基本的1株当たり当期損失及び希薄化後1株当たり当期損失は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
親会社の所有者に帰属する当期損失(千円)	△2,380,220	△3,488,088
当期損失調整額(千円)	—	—
希薄化後1株当たり当期損失の計算に 使用する当期損失(千円)	△2,380,220	△3,488,088
期中平均普通株式数(株)	106,165,802	104,210,339
普通株式増加数		
新株予約権(株)	—	—
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	106,165,802	104,210,339
基本的1株当たり当期損失(円)	△22.41	△33.47
希薄化後1株当たり当期損失(円)	△22.41	—

## 7. 後発事象

(一部事業の廃止及び希望退職者の募集)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会において、広告事業の一部等を廃止及び希望退職者募集を行うことについて決議しました。

本件の詳細につきましては、2023年2月10日付「当社一部事業の廃止及び希望退職者の募集に関するお知らせ」をご参照ください。